

アルプスを駆ける日本・スイス友好の機関車

特別企画品



写真:Axel Bozier

New

2018年  
9月

10-1514 Ge4/4-II <箱根登山電車> + EWI 客車 3両セット ¥14,000+税

再生産

2018年  
9月

箱根登山電車  
Hakone Tozan Railway Rhätische Bahn

箱根登山鉄道は、レーティッシュ鉄道ベルニナ線を参考に、美しい自然を損なうことなく景観を活かした曲線を多用し、急勾配でもラックレールを使用しない粘着式を採用して、路線の設計がなされました。このような歴史的背景から、1979年に両社は「姉妹鉄道提携」を締結。今回製品化するのには、その友好の証として2010年に登場した、レーティッシュ鉄道の電気機関車Ge4/4-IIに「箱根登山電車」のロゴが施された姉妹鉄道記念塗装です。約40年にもおよぶ日本とスイスの友好関係に思いを馳せながら、スイスアルプスを走る列車をNゲージ鉄道模型でお楽しみください。



10-1413 アルプスの赤い客車 EWI 4両基本セット ¥7,200+税

10-1414 アルプスの赤い客車 EWI 4両増結セット ¥8,800+税

好評発売中



10-1273 レーティッシュ鉄道 ABe8/12 <アレグラ> 3両セット ¥14,800+税



日本で感じるスイス。スイスで感じる日本。



今回製品化されるGe4/4-II <箱根登山電車>に限らず、箱根登山鉄道、レーティッシュ鉄道のいたるところで、お互いの国を思わせるシンボルが見つかります。箱根登山鉄道の車両は氷河特急やベルニナに模したデザインが採用され、レーティッシュ鉄道の車両は、機関車の他にも客車にHakoneの名前や、桜のデザインが用いられています。



▲箱根登山鉄道強羅駅にある、レーティッシュ鉄道を感じさせるモチーフ

“なんでもアリ”の自由な編成に、わくわくする。



レーティッシュ鉄道の編成はとても自由。氷河特急やベルニナ急行のパノラマ客車と一般形客車、荷物車が一緒に併結されたり、普通列車に突然クラシックな食堂車が入ったり、丸太を積んだ貨車などと客貨混合するのも日常の光景です。日本と言うと、オハ35系やスハ43系のように、必要な両数を組成して自由に列車を仕立てる、そんな懐かしく面白い鉄道風景が、EWIやGe4/4-IIの登場によって、KATOのスイスシリーズでも再現できるようになりました。「気楽に」「楽しく」がコンセプトの当シリーズ。自由に機関車や牽引客車を付け換え、ジオラマともあわせてお楽しみください。



編成例



※氷河特急客車をEWIやベルニナ急行と連結させる場合、28-186 氷河特急ショートカブラーセットが必要です。※編成は一例です。この他にも様々な編成がありますので、お好みの編成でお楽しみください。